

議会だより

定例会

令和4年第2回定例会は6月21日に招集され、提出された案件を審議し閉会いたしました。

委員会報告

総務産業常任委員会

- 調査期日 4月5日
- 調査事項 ひまわり油の状況について
- 調査結果 指摘事項なし
- 調査期日 6月9日
- 調査事項 小学校の経営状況について
- 調査結果 指摘事項なし

承認

- ◎ 専決処分の承認を求めることについて
- 北竜町税条例等の一部改正について
- 令和4年度北竜町一般会計補正予算(第2号)について
- 令和4年度北竜町特別養護老人ホーム事業特別会計補正予算(第1号)について

原案可決

- 北竜町国民健康保険条例の一部改正について
- 北竜町職員の特務勤務手当に関する条例の一部改正について
- 職員の育児休業等に関する条例の一部改正について
- 北海道市町村総合事務組合規約の一部変更について
- 北海道市町村職員退職手当組合規約の一部変更について
- 北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の一部変更について
- 深川地区消防組合規約の一部変更について
- 令和4年度北竜町一般会計補正予算(第3号)について
- 令和4年度北竜町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について
- 令和4年度北竜町立診療所事業特別会計補正予算(第1号)について
- 令和4年度北竜町介護保険特別会計補正予算(第1号)について
- 令和4年度北竜町特別養護老人ホーム事業特別会計補正予算(第2号)について

- 令和4年度北竜町農業集落排水事業及び個別排水処理事業特別会計補正予算(第1号)について
- 令和4年度北竜町簡易水道事業会計補正予算(第1号)について

報告済

- 令和3年度北竜町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について
- 株式会社北竜振興公社の経営状況を説明する書類の提出について

一般質問

6月21日に開会された第2回定例会では、3名の議員から4件の一般質問がありました。



小松議員

スマート農業の

推進について

小松議員

近年、農業者の高齢化や労働力不足を解消する手段としてAIやロボット等、先端技

術を用いたスマート農業が広がっている。

近隣の自治体でもこれに対して支援をしている自治体も

追加議案

- 令和4年度北竜町一般会計補正予算(第4号)について

意見書提出

- 次の意見書を可決し、関係省庁に送付いたしました。
- 森林・林業・木材産業によるグリーン成長に向けた施策の充実・強化を求める意見書
- 食料安全保障の強化を図る新たな国の予算確保と国民への理解醸成を図る意見書

あるが、北竜町も減少する農業者で既存の農地を守っていく為に、取り組みが必要と思うが、考えを伺う。

佐野町長

J Aきたそらち管内では、令和2年にスマート農業技術研究会、令和3年に空知総合振興局で空知スマート農業推進室が設置された。

町内でも法人や若手経営主を中心に自動操舵の田植え機やトラクター・ドローンの導入が進められ、その効果は明らかである。だが導入コスト、圃場整備、機械操作、人材確保の課題から町内では一部の導入に留まっている。

「みどりの食糧システム戦略」の実現には、人手を介さずに効率的な農作業を可能と



松永議員

新型コロナの中での町民負担軽減について

松永議員

町では新型コロナウイルス感染症対策として、地方創生

するスマート農業技術の実装が欠かせない。国の補助事業においても、スマート農業用機械等の導入支援が盛り込まれている。今後関係機関と連携しながら、生産者のニーズに沿った取り組みを推進したい。

小松議員

今、国の補助金でスマート農業の導入支援事業があるが、要件が厳しく、個人の農家はほとんど対象とならない。担い手の育成策としてもいち早く具体的な結論を出して欲しい。

佐野町長

対策室会議、専門委員会等で検討して、導入に向けた町の助成策について前向きに検討し、積極的に対応したい。

策として、町内全世帯で恩恵を受けられる上下水道料金の減免を実施する考えはあるのか伺いたい。

佐野町長

国は、新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金に「原油価格・物価高騰対応分」を新たに創設し、生活支援や中小企業者等の支援に

対する取り組みへの助成が拡充された。本町ではプレミアム商品券や地域振興券の発行、飲食店や商工業者・農業者支援等を実施してきた。上下水道料の減免や福祉料金設定についても検討したが、公平性と平等性、町内消費促進の観点から地域振興券を発行した経緯がある。その為今回



松永議員

ひまわりの里基本計画について

松永議員

ひまわりの里基本計画で、令和3年10月以降の内容の変更点や冬期間の運営について

も原油価格・物価高騰対策として、町民1人1万円分の地域振興券発行事業を行う事としたのでご理解頂きたい。

松永議員

地域振興券等の発券作業や経費と比較して上下水道料金減免の方が単純な作業で済み、各家庭において、町独自の事業として請求書や領収書などの書類として残り、その恩恵が分かりやすいと思うが。

佐野町長

今回はあくまでも急激な燃油高騰と物価高による生活支援対策として、ガソリンスタンドでも使用できる地域振興券の配布であり、併せて町内の商工振興にもなると思っている。ご理解頂きたい。

佐野町長

展望台基本設計については、当初計画を継承しており、コロナ禍により設計委託期間が令和4年3月31日から9月30日まで延長した。積雪については構造上問題ないとの回答があった。また3月以降、ひまわりの里活性化協議会で意見をまとめ、答申書が提出された。展望台入場料を徴収しエレベーターを含めた年間の維持費を賄えるという事が妥当という見解から、委託先と作業を進めている。

年間を通して多くの人に訪れて頂く為、地方創生推進交付金プロジェクトにより、実質的な検討を深め、人材確保・育成等を行っていききたい。昨今の急激な物資の高騰や人材不足、国内外の社会情勢の変化など適切に踏まえた中で、実施については慎重に判断し進める。

伺いたい。また、新たな展望台の基本設計の進展状況についても伺いたい。





中村議員 今後の交通安全運動 について

中村議員

交通事故死ゼロが継続し、5,500日を目標としていたが、目前にして死亡交通事故が発生し、更に10日後にも発生した。

今後の交通安全運動をどのように進めていくのか伺いたい。

佐野町長

今回、本町で起きた2件の死亡交通事故は、それぞれ状況は異なるものと同じ交差点付近で発生した。

近年、全国的に死亡交通事故が減少しているが、高齢者に起因する交通事故は増加傾向にあるとされている。高齢者に限らず、交通事故はいつ自分の身に降りかかってくるかわからない。悲惨な交通事故を繰り返さないよう、交通安全運動に努めたい。

中村議員

40年前は北海道では年間600人が犠牲になり、若者の死亡事故を減らそうと運動していたが、近年では高齢者となっている。本町の高齢者の免許返納の送迎については、TVや新聞で報道されていた。

北竜の交通安全において死亡事故ゼロの継続日数も伸びてきていた頃、それを大きく取り上げる訳ではなく、粛々と進めていたがそれはなぜか。

佐野町長

近隣町では事故死ゼロを大きな看板でアピールしたが、その2日後に死亡事故が発生した。記録は途切れるものがあるが、町民が犠牲にならないようにすることが大切である。

事故後、碧水十字街、役場前、和十字街に建設業協会の役員が立ち交通の見守りを行

った。日頃の通学時には町民が子供達を見守っている。碧水の交差点はカーブのある十字路で危険だが、大きな事故がなかった。注意が必要であることを再認識した。

中村議員

誰しも事故に遭いたくないし起こしたくない。歩行者は信号だけでなく、車の動向を確認してほしい。車両も、国道に出るときは通行車両の距離の確認が必要である。右折左折の方法など、基本を再確認してほしい。

交通安全の日の集会の内容は、40数年変わっていないのではないか。ジャンボ人の波もジャンボでなくなっている。今一度、交通安全標語を意識付けする取り組みが必要なのではないか。たとえば、町民が考えた交通安全運動を公募する等。

佐野町長

今後様々な角度で交通安全運動を推進していきたい。担当は総務課であるが内部検討を進め、子供たちの信号の見方等は学校を通じて指導してほしい。

ジャンボ人の波は、私が担当の時に始めた。当時は1000人近く集まっていたが、現在は少なくなっているのので検討していきたい。交通安全標語等も検討していきたい。

中村議員

交通安全協会の会長も新しくなったので、違う発想で展開していきたい。

活動報告

【7月】

- 3日：議長杯パークゴルフ大会
- 4日：「組合設立50周年記念」第74回北空知連合消防演習及び懇親会
- 6～7日：北海道町村議会議長会議
- 研修
- 11～13日：総務産業常任委員会道外政務調査
- 14日：空知町村議会議長会研修会、雨竜町議会との交流会
- 19日：北竜町交通安全の日町

活動予定

【8月】

- 1日：総務産業常任委員会
- 3～5日：北空知議会議長連絡協議会中央要望
- 6～7日：ひまわりオイルサミット
- 8日：ラジオ体操・みんなの体操会
- 19日：戦没者追悼式、北竜盆踊り大会
- 22日：例月出納検査(監査委員)
- 23日：義務教育学校視察研修(比布町)
- 23～26日：令和3年度北竜町各会計決算審査(監査委員)
- 24～26日：北空知議会議長連絡協議会行政視察

第26回議会議長杯

町民パークゴルフ大会

第26回議会議長杯パークゴルフ大会は7月3日に開催され、41名（男性28名、女性13名）が参加しました。

当日は天気も良く、絶好のパークゴルフ日和であり、町民の方々と交流しながら盛会のうちに終了しました。

●男子の部 優勝

腰越 誠

●女子の部 優勝

川島 景子

●ホールインワン賞

山本 剛嗣



議事 コラム

北海道の短い夏が来ます。子どもの頃は考えられなかった、エアコンも必須になるような夏の暑さが北海道においても普通になるのでしょうか。熱中症等にはくれぐれもご用心下さい。

さて、来年度予算に関して、議会も空知全体での陳情と北空知1市4町についても同様の活動を行います。例年通りの懸案事項（懸念事項とは、以前から問題になっていて、いまだに解決していない事）の要望活動を行います。今年「水田の活用について」の新たな政策を求めること、「物価をはじめとする各種高騰対策」を求めることを主眼としています。

国が責任を持って行う事、北海道が行う事、町が行う事、を明確にして私たち個人々々が出来る事も行っていくべきと考えています。よろしくご指導をお願いします。（佐々木 康宏）